

第4回稲沢市まち・ひと・しごと創生戦略会議 会議録

【日 時】 令和3年3月23日（火） 午後3時～午後3時30分

【場 所】 稲沢市役所政策審議室

【出席者】 稲沢市まち・ひと・しごと創生戦略会議委員（敬称略）

秀島栄三 名古屋工業大学大学院工学研究科教授

小森昌哉 共栄食品株式会社代表取締役

柴田宗敏 愛知県立稲沢高等学校教諭

白橋正樹 稲沢金融懇話会幹事

後藤 靖 連合愛知尾張南地域協議会代表

稲熊雅子 三工機器労働組合執行委員

田口そら 公募

〈事務局〉

加藤錠司郎 市長

篠田智徳 市長公室長

吉川修司 企画政策課長

飯田達也 企画政策課統括主幹

岡部雅憲 企画政策課主幹

野中知華 企画政策課主任

【議事次第】

1 市長公室長あいさつ

2 議事

（1）第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

（2）その他

3 市長公室長あいさつ

【会議の概要】

1 市長公室長あいさつ

第4回まち・ひと・しごと創生戦略会議の開催にあたり、一言あいさついたします。

「第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定作業も大詰めとなり、本会議の後に完成し、公表する運びとなりました。

まずもって、これまで多くの御意見や御提言をいただきながら、ここまで辿り着くことができましたこと、厚く御礼申し上げます。

これまでの会議の中で本市の人口推計を提示してまいりましたとおり、今後数十年、人口減少は避けられず、高度成長期のような経済成長も望むことはできないと思っております。コロナ禍により先行きは不透明ですが、市税収入等の歳入が縮減し、高齢者の増加に伴う扶助費等の歳出の増加は避けられない状況であり、加えてwith コロナ after コロナへの対応も迫られております。苦しい財政情勢の中ではございますが、こうした現実にしかりと向き合い、着実に事業を進めていかなければならないと考えております。

今回の会議が第2期市総合戦略策定にあたって最後の会議となります。積極的な御意見、御提言をいただきますようお願いいたしまして、私からのあいさつといたします。

2 議事

(1) 第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について

[会長]

まず、本日の議事の(1)「第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について」、事務局から説明をお願いします。

=事務局=

第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)について説明【資料1～3】

○質疑

[会長]

本計画の策定にあたり実施したパブリックコメントにおいて、沢山の意見が提出されましたが、計画案の修正はなかったということでしょうか。

[事務局]

パブリックコメントとしていただいた意見のほとんどは、市総合戦略の記載内容への質問や、市の考え方を問うもののほか、新しい事業の提案等でしたので、市総合戦略の内容修正は行いませんでした。

[会長]

他の自治体で実施されるパブリックコメントでは、残念なことに意見の提出が0

件ということも多いので、断定はできませんが本計画に多くの方に関心を持っていただけたと考えることができる結果であると言えます。

[会長]

他に意見もないようですので、本会議で最終確認として承認をいただきたいと存じます。

この度の「第2期稲沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、御承認いただけますでしょうか。

(異議なし)

[会長]

それでは、本案に基づいて公表準備を進めてください。

[事務局]

ありがとうございました。

それでは、第2期市総合戦略の策定にあたり市長から一言申し上げますので、入室までしばらくお待ちください。

(市長入室)

[会長]

本日は策定における最後の会議の場です。

せっかくの機会ですので、委員の皆様から一言ずつコメント等をいただきたいと思えます。

[委員]

今回のパブリックコメントで沢山の意見が提出されたことは、本計画に関心があるということだと思います。本市では子育て・教育に力を入れて事業に取り組んでおりますので、計画によってどんな成果があったか見える形で検証し、その結果を次の事業に繋げていく流れがあると、より市民にも理解されやすくなると思えます。

また、今後は農業に関する取組みが重要であると考えます。本市には広大な農地があるため、コロナ禍で大変厳しい状況ではありますが、先のことを考えると積極

的に手を打っていかなければならないと思います。

[委員]

以前にも申し上げたとおり、3年ほど国府宮駅前に住んでいた経験から、本市は住みやすいまちだと思っております。名古屋駅にも電車で近く、車さえあれば不便のない良いまちだと思います。現在、本市で仕事をしている中でも、ロケーションの良さを感じておりますが、とても大きなアドバンテージであるにも関わらず、その良さを生かしきれていないように感じます。

私は市内に市街化調整区域が多いことが課題であると思っておりますが、人口増のポテンシャルが充分にあるまちだと思っておりますので、今後、本市が発展していくことを願っております。

[委員]

私は28年間本市に住んでおりますが、本市に引っ越してくる前は名古屋市に住んでおり、そちらは交通の便が非常に良かったと思っております。

現在は、市役所の近くに住んでおり、名鉄、JRの駅まで出たら名古屋までとても近くて便利ですが、駅まではバスを使わなくてはならず、夜遅い時間ですとバスが少なく、かなりの時間を待たなければなりません。そのため、家族に迎えに来てもらうなど不便に感じております。

バスの本数を増やすことは難しいと思いますが、一時間に、1、2本でも増えると、とても便利になると思います。

また、本市の良さは若いうちは分かりにくいですが、年を重ねるとよく分かるように感じております。今、本市に住んでいる若い人たちも、数十年後には多くの方が本市に戻ってくるのではないかと思います。

[委員]

本計画策定にあたり、委員として市政に携わる機会を持てて良かったと感じております。また、パブリックコメントを実施して沢山の意見が提出され、計画の修正はありませんでしたが、市民の声を反映させる機会を持つことはとても良い取り組みだと思いました。今後も市民の声を大事にしながら市政の運営をしていただきたいと思います。

若い人に本市の良さが伝わりにくいとの意見がありましたが、私は本市で育ち、進学のために県外に下宿をしました。市の外に出てみると本市は住みやすく、良いところだったなど、良さを感ずることができました。自然豊かで緑が多く、その

分、田舎ですけれど、そこも含めて素敵なまちであると感じております。そういった本市の魅力は、しっかり説明していけば若い人にも理解してもらえと思うので、一人でも多くの人に伝わるよう取り組んでいただき、本市の発展に繋げてほしいと思います。

[委員]

本会議をもって計画の策定となりますが、これからが大事であると考えます。計画を策定し進めていくにあたり、取組みや成果の見える化が大きなポイントであると思います。先の見通せない不透明な世の中であるからこそ、見える化が重要だと思えます。取組みを明確にして、多くの方に第2期市総合戦略を自分事と捉えてもらえるよう情報発信やPRを進めてほしいと思います。

引き続き、皆で一丸となって知恵を出し合いながら、各事業に取り組むことで、身近で温かい、魅力ある稲沢となって、前に進んでいけるのではないかと思います。

[委員]

本市は緑が多いという意見があり、また、パブリックコメントでも農業への意見が多く提出されました。

今後も農地の保全をしながら、名古屋近郊という地の利を生かした駅周辺再整備などの開発をバランスよく進め、若い人たちが自然豊かな緑の多い環境で安心して子育てできるようなまちづくりに取り組んでほしいと思います。

[会長]

私は本市の総合計画の策定にも携わりました。

本来、総合計画があれば市の方向性が定まり、理解され、その計画に基づいて行政が執行されていくため、まち・ひと・しごと創生総合戦略は不要と考えることもできます。

しかしながら、国をあげて総合戦略を策定することとしているのは、人口が右肩上がり、産業も順調だった時代から、今はそうではなくなってきており、対策が必要であるために、このような取組みをしているのだと捉えております。

本市は田舎であるとの意見がありましたが、今後、人口が増えないことと同様に、本市が田舎でなくなることもないと考えます。田舎である本市が時間をかけて良いものになる、もしくは、田舎であることが良いことであるように人々の意識を変えていくことも、ありではないかと思います。

本市もシティプロモーション事業に取り組んでおりますが、市内に住んでいるう

ちは本市の良さに気づきづらい、市外に出ると気付くとの意見から、市の内側に向けてのプロモーションこそ大事なのかもしれません。市外からはこのような住みやすいまちに見えている、また、本市はこのように見えるべきというイメージを、今住んでいる人たちに明確に伝えることで、第2期市総合戦略がより多くの方に理解されるのではないかと思います。

また、本計画の策定に携わったのはほんの一部の人だけですので、策定した計画は市のホームページに載せて終わりではなく、多くの人に知ってもらうようPRすることが重要だと思います。

[会長]

各委員の意見も踏まえまして、策定にあたり市長からも一言いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

[市長]

まち・ひと・しごと創生戦略会議につきまして、昨年10月5日の第1回から始まり、本日に至るまで多くの御意見等いただきまして、ありがとうございました。また、第2期市総合戦略策定の御了承をいただき、重ねてお礼申し上げます。

このたび、委員の皆様から御意見をいただきましたが、私も正に皆様が仰るとおりの現状であると思っております。地理的に有利、ポテンシャルがあるといいながらそれを生かしきれていない、また、市街化調整区域が多いことを弱点といいながら、自然の豊かさを強みとしている、加えて、地権者の方が土地に愛着が強く、開発にあたっては抵抗が強いという、ある意味、相反する状況を持っていることが本市の現状であると思っております。その両方を持ちながら苦労して進んでいくのが「稲沢市」なのかと、思いを新たにいたしました。

第2期市総合戦略について、委員の皆様にご定めていただいた4つの基本目標に向かって事業を進めてまいります。計画は策定してからが重要であろうと思っております。本計画を広く市民に知っていただき、また、進捗管理、検証を行いながら一歩ずつ前に進めていくことが計画を作った意義であると考えております。

折しもコロナ禍により、ここ数か月の出生数をみますと極端に減少し自然減が非常に大きくなってきております。また、社会増はあるものの、ほとんどが外国人という現状であり、危機感を抱いております。

そのような中で人口減少に歯止めをかけるために土地利用政策の見直しを行い、名鉄国府宮駅周辺の開発も進めていきたいと思っております。しかし、ソフト事業については財源の余裕があれば実施することが出来ますが、開発事業になります

と相手の事情もございますので、なかなか進まないというのが現状です

今後、本市の市政運営を10年20年、また、50年、100年と続けられるように、また、住んでいらっしゃる方々から住みよいまちだと言っていただけるように、委員の皆様からいただいた貴重な御意見をしっかりと受け止めて、私を始めとして職員一同努力してまいります。

来年度からは第2期市総合戦略の進捗管理について、委員の皆様から御意見をいただきながら、しっかりと進めてまいりたいと考えておりますので、引き続き御協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後に、本計画策定にあたり長い間御尽力いただき、心から感謝申し上げます。私からのあいさついたします。

(2) その他

[会長]

次に、議事の(2)「その他」について、事務局から説明をお願いします。

[事務局]

「その他」として、事務局より今後の日程についてお知らせいたします。

本日御報告いたしました「第2期市総合戦略」について、内部で決裁を経た後、公表いたしますのでお含みおきくださいますようお願いいたします。

また、来年度からは、決算後の7～8月頃を目途に、本計画に掲載された事業の進捗管理について委員の皆様へ報告し、意見をいただくこととなりますので、今後とも御協力いただきますようお願いいたします。

○質疑

[会長]

ほかに意見等はございませんでしょうか。

今後も、我々は本計画の進捗管理に協力したいと思います。

特に意見等ないようですので、これで会議を終了したいと思います。その他、事務局から何かあればお願いします。

[事務局]

本日はありがとうございました。委員の皆様方からいただきました御意見を踏まえ、今後の事務を進めてまいります。

それでは最後に、市長公室長からあいさつ申し上げます。

3 市長公室長あいさつ

まずは1年間、第2期市総合戦略の策定にお忙しい中、会議に御出席いただき多くの御意見を賜りまして、誠にありがとうございました。

市長や事務局が申し上げましたとおり、計画は策定して終わりではなく、来年度からは、進捗管理の面からも皆様の力をお借りしたいと考えております。

皆様に参画いただき策定しました本計画が今後どのように育っていくか、年度ごとに取り組みや成果を報告してまいります。計画どおり進まないこともあるかと思いますが、そのときには皆様から叱咤激励していただけたらと思っております。

今後とも皆様から忌憚のない御意見をいただきますよう、お願い申し上げます。私からのあいさつといたします。本日は誠にありがとうございました。